



OG/OB と学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

INDEX



1. 筑波大学の国際化は止まらない / 加藤緑
2. 筑波マップで振り返る筑波大周辺の歴史 / 川畑悠成
3. ニュージーランドで学んだこと ～北島編～ / 結城希
4. 「実録」 留學生活のリアルな1週間 / 金苗慧真
5. つくばもぐもぐ記 / 山田久美子
6. 筑波大生の青春の場 友朋堂書店を尋ねて / 川上真生



1. 筑波大学の国際化が止まらない！

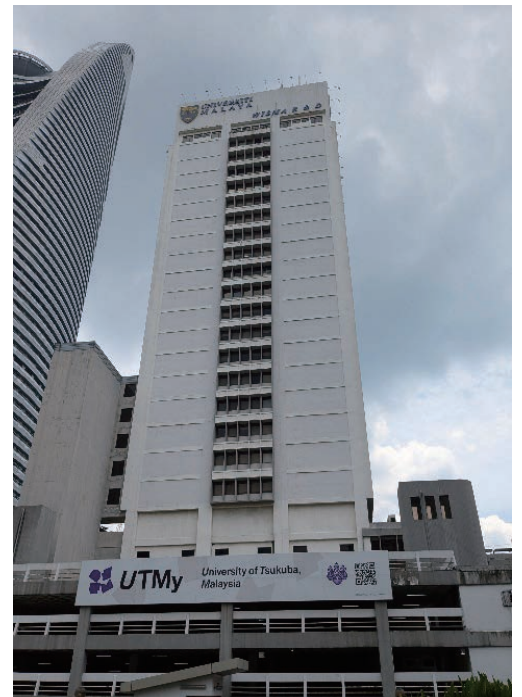


皆様の中には、在学中に留学や研修など、一定期間海外で活動した人は少なくないと思います。筑波大学は協定校の数が多く、さまざまな留学・研修プログラムが用意されているほか、「はばたけ！筑大生」という独自の奨学金制度が充実していて、学生にとって海外に挑戦しやすい環境が整っています。

筆者も大学の支援を受けて、これまでオランダとマレーシアで研修プログラムに参加したことがあります。周りにも実習でタイに3週間行った友達や、合成生物学の世界大会に参加するためフランスに渡航したグループもありました。このように、学群学類関係なく、全学的に国際交流活動はかなり活発に行われていると実感します。そして筆者は昨年の9月からイギリスのマンチェスター大学に交換留学し、数日前に帰国しました。

筑波大学は開学当初から国際化に力を入れていて、建学の理念にも明記されています。これまで文部科学省の国際化推進事業に採択され、国際化を後押ししています。2009年の「国際化拠点整備事業（Global 30）」から、「グローバル人材育成推進事業 Go Global Japan Project (GGJ: 部局型)」、そして「スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU・トップ型）」の三つの主要な事業に採択され続けてきた実績があります。そして昨年は「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業（海外展開型）」に採択されたうえ、採択校の幹事校として指名されました。

このほか、協定校や留学生数の増加、そして筑波大学の国際化を語る上で避けては通れない筑波大学マレーシア校（マレーシア・クアラルンプール）の開校があります。これらを踏まえ、筑波大学は日本の大学の国際化を牽引する存在であると言っても過言ではないでしょう。



筑波大学マレーシア校の外観

さて、前置きが長くなりましたが、今回は交換留学先での話、とりわけ寮生活についてご紹介したいと思います。

この留学は生物学類とマンチェスター大学の生物・医学・健康学部との間の交換留学協定で、留学中に卒業研究に取り組みます。

留学生活に入る前にイギリスで活躍している著名な卒業生を少しだけご紹介させていただきたいです。それは——サッカーの三笥薫選手！体育専門学群出身で、在学中から蹴球部で目覚ましい活躍を見せていました。サッカー日本代表としてワールドカップに出場するなどの経歴を持ち、現在はイギリス・プレミアリーグのブライトンに所属しています。3年前に大流行し

た「三笥の一ミリ」はまだ記憶に新しいですね（というかもう3年も経ったのか！）。

最近では、ブライトン対リバプール戦で途中出場からの得点で、逆転勝利に貢献したことが大きな話題になりました。それと同時にプレミアリーグで日本人初の2桁得点という快挙を成し遂げました。

何を隠そう、実は筆者も先日三笥選手の試合を見に行きました。プレミアリーグ最終節、ロンドンのトッテナム・ホットスパー・スタジアムで行われたブライトン対トッテナム戦です。三笥選手は後半からの出場でしたが、素晴らしいドリブルにすっかり魅了されました。筆者はトッテナムファンの中に紛れ込み、ブライトンが得点した時に拍手喝采し、トッテナムファンと真逆のしていました。



ブライトン対トッテナム

さて、話を戻しましょう。同時期に二つの大学に所属できるという交換留学生の「特権」を得た筆者が見た筑波・マンチェスター両大学についてご紹介します。

まず、どちらも「開かれた」総合大学という点で共通しています。幅広い学問分野を学ぶことができ、ノーベル賞受賞者とオリンピックアスリートがいるところも同じです。前身校も含めると、筑波大学は1872年、マンチェスター大学は1824年に始まりました。つくば市は研究学園都市として教育研究機関がたくさん集まっています。一方、マンチェスター市は産業革命発祥の地として工業都市の性格が強いです。

キャンパスについて言うと、筑波大学のほうが圧倒的に広いですが、どちらも門や囲いがなく、街と一体になっています。敷地内や近隣にはスーパーや飲食店などがあり、いろいろな店舗や施設がそろっていて便利です。



晴れた日のマンチェスター大学

寮が充実している点についても共通していますが、システムが両大学で大きく異なります。筑波大学はキャンパス内の四つの地区に設置されています。一般学生が入居する改修棟／未改修棟、短期留学生用のショートステイハウス、国際交流が盛んなシェアハウス型のグローバルヴィレッジなど、数種類あります。

一方、マンチェスター大学にはキャンパス近隣の三つの地区に計 23 の学生寮があります。徒歩 5 分以内とキャンパスからとても近いものもあれば、徒歩 30 分の寮もあります。また、多種多様な寮があり、当初は多すぎて選ぶのが大変でした。まず、食事付か否か、及びトイレ・シャワーは共用かどうかの 2 種類の条件に分かれます。寮によってはさらに細かく独立洗面台の有無や部屋の広さを選ぶことができます。これに加え立地や周辺環境、値段などを考慮しながら決定しました。

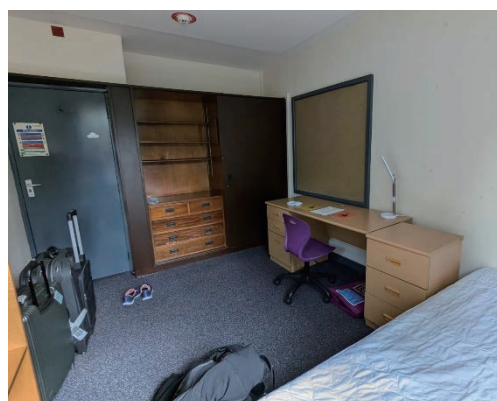
寮生活については新鮮な体験がたくさんあります。筆者は 2 年生から 3 年の途中まで一の矢宿舎の未改修棟に暮らしていました。その環境は決して快適とは言えませんが、光熱費や洗濯代、シャワー代を含めて月 2 万円ほどでしたので、節約のために泣く泣くこの条件を呑みました。



一の矢学生宿舎の未改修棟

マンチェスター大学の寮は一の矢宿舎と大きく異なるものでした。筆者が暮らしているのは食事付で、トイレ、シャワー、キッチンが共用の寮です。キャンパスまで徒歩 30 分ほどかかるところに位置します。部屋は一の矢の 2.5 倍広く、床はカーペットが敷かれています。初期設備のベッド、マットレス、机、洗面台は一の矢と同じですが、それらに加えてクローゼットや棚などがあり、収納が有り余るほど多いところが大きな違いです。

寮費は食費と水道光熱費込みで月約 15 万円かかります。最初はあまりにも高くて目を疑いましたが、よく考えると寮の条件に加え、物価高のイギリスと円安の追い打ちで、この値段になるのも妥当だと思うようになりました。ちなみに洗濯代は含まれておらず、寮にあるコインランドリーを利用する度に支払います。洗濯は一回約 600 円、乾燥は約 300 円です。



マンチェスター大学の寮

食事は毎日朝夕の2回提供され、寮に併設されている食堂で食べます。筑波大学の宿舎はどれも食事は付いていませんが、長野県の菅平、あるいは静岡県の下田にある実験センターに少し似ていると思いました。そこに実習で行く際は、みんなで一緒に食堂でご飯を食べます。昨年のペデジャーなる夏号でご紹介しましたので、よろしければそちらもご覧ください。

食事以外にも卓球室、映画室、図書室などの共用施設があり、外に出なくてもできることがたくさんあります。設備で残念だと思うのは、筑波大学の宿舎のような貸出しの寝具はなく、マットレス以外は自分でそろえないといけないことです。当然、寝具を交換してくれるサービスもないので、自分で洗濯します。

マンチェスター大学には留学生がたくさんいて、多様性が非常に高いです。個性的な学生たちと日々接しているうちに、自分の考えがアップデートされていきます。異国の地での生活は時には心細く、またある時は見知らぬ人に助けられたり、励まされたりして、いろいろ体験していくうちにさまざまな感情を味わいました。留学はただその地の文化・歴史を学び、異文化交流するだけではないことを痛感しました。今回の留学経験を生かし、これからもいろいろなことにチャレンジしていきたいです。

参考文献：

筑波大学 建学の理念

<https://www.tsukuba.ac.jp/about/outline-concept/>

大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業

<https://social-impact.projects.tsukuba.ac.jp/about/>

筑波大学 学生宿舎・アパート情報

<https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-healthlife/>

ペデジャーなる 2024 年夏号

https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/application/files/9117/2526/3900/2024_54.pdf

(生命環境学群 生物学類4年 加藤緑)

2. つくばマップで振り返る筑波大周辺の歴史



4月に新たに新入生が入り、ペDESTリアンデッキを通る自転車の数も一段と増えた気がします。5月30日と6月1日にはやどかり祭（宿舎祭）が開かれ、1年生が出店を運営している姿を見ると、新入生が筑波大に来たことを実感しました。

筆者が所属する筑波大学新聞にも10人の新入生が入ってきてくれました。全員、茨城県外から来ており、ほとんどの学生が大学の寮や近隣のアパートで生活をしています。後輩からよく聞かれるのが「おいしいご飯屋さんはどこにありますか？」とか「駅に行きたいんですけど、どの道から行くのが良いですか？」など、筑波大学周辺の土地のことについてです。

思えば筆者も1年前、広島から筑波大学に進学した際、筑波大学周辺の土地勘が全くなく、苦労したのを覚えています。筆者自身がどうやって筑波大学周辺の土地勘を身に付けていたのかを思い出してみると、「つくばマップ（旧いらすとマップ）」の存在が大きかったと思います。

つくばマップとは、筑波大学新聞の名物企画で、毎年4月に発行される新入生歓迎号で筑波大学周辺の飲食店や、大学内の施設が紹介されているマップのことです。1981年に初めて発行されて以降、長らく読者に親しまれています。

昨年、筑波大学新聞は創刊50周年を迎え、その記念として開催したのがつくばマップ展です。つくばマップ展とは、マップ掲載初年度の1981年から当時最新だった2024年のマップの内14枚を大判印刷し、中央図書館でそのマップを展示した企画展のことです。雙峰祭期間中にも開催し、OB・OGの方にも親しんでいただき大盛況で終えることが出来ました。

筆者はつくばマップ展の企画運営に関わり、約半年間、これまで発行されたマップとにらめっこをしてきました。今回はそんな筆者だからこそ分かるつくばマップの魅力について語ってみたいと思います。

■初めてのつくばマップ1981年編（新入生歓迎号）

つくばマップは筑波大学新聞が1974年に創刊して7年後に初登場しました。当時はまだモノクロのマップでした。編集部で依頼した芸術専門学群の学生が手書きしたもので、作成者本人の味が出ているのが魅力の一つです。

マップの中には、学内のエリアや周辺施設はもちろんのこと生活の豆知識まで書いてあります。例えば、マップの右側には自転車に乗っている女性が「お買物自転車は必需品よ～！」と話している絵があります。このことから、昔から筑波大生にとって自転車は生活するのになくてはならないものだったことが見て取れます。

筑波大周辺施設に目を向けてみると、「らんぷ」や「クラレット」、「井上サイクル」など、いまでもなじみの深いお店が昔からあったことが見て取れます。また、バスの時刻表も書いてあります。新入生がさまざまな情報を得やすいように工夫して作られていて、分かりやすいです。

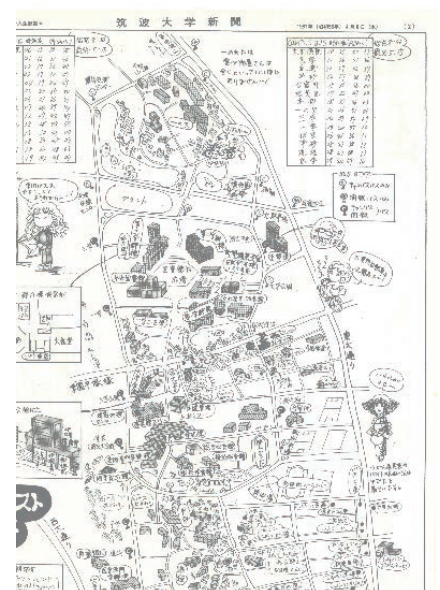


図1_初登場の1981年マップ

■特別版 EXPOMAP1985年編（第82号）

日本では今年、大阪・関西万博が開かれています。つくばでも40年前に、つくば科学万博が開かれていました。つくば科学万博には、日本を含む48カ国と37の国際機関が参加しました。

この年の筑波大学新聞第82号（2月16日発行）では、EXPO MAPと称し、万博の会場図を掲載しました。マップ内の表記はすべて英語で、おそらく国際万博を意識した仕様になっています。また、マップ上でピンク色で示されているのが外国館なのですが、右上には「USSR（ソビエト社会主義共和国連邦の英語略）」の文字があります。ソ連は1991年に崩壊し、今はロシア連邦になっています。時代を感じるマップですね。

万博開催期間中は筑波大でも大学会館ロビーで特設展示を設けました。展示内容は、筑波大の教育・研究事情やキャンパスライフなどです。また、万博会場内のアルバイトも学生に募集されていました。売店、飲食店、警備を中心に70件、2800人の募集がかかったそうです。

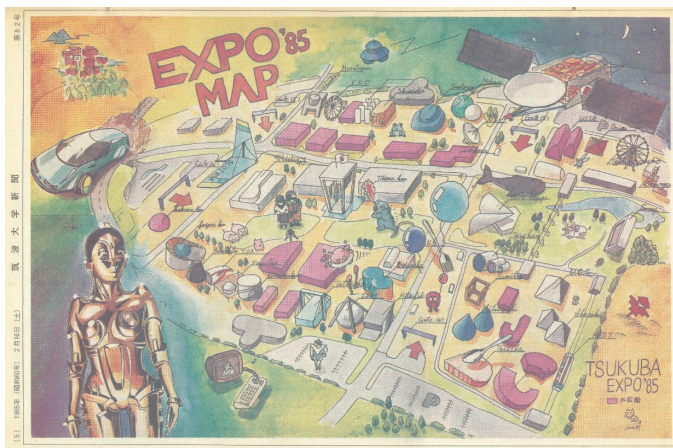


図2_初登場の1981年マップ

■公共施設の誕生1991年編（第132号）

この年になるとさまざまな公共施設がオープンしてきていることが分かります。1986年にはつくばエキスポセンターが開館し、1990年にはつくば市立中央図書館と茨城県つくば美術館などの複合施設であるつくば文化会館アルスが開館しました。

また、つくばマップもカラー印刷されるようになり、より見やすくなりました。主要な建物は外観が精工に描かれています。手書きで描いているとは思えないほどきれいです。そして、紹介店舗の数もかなり増えています。つくば市がだんだんと栄えてきたのが分かります。

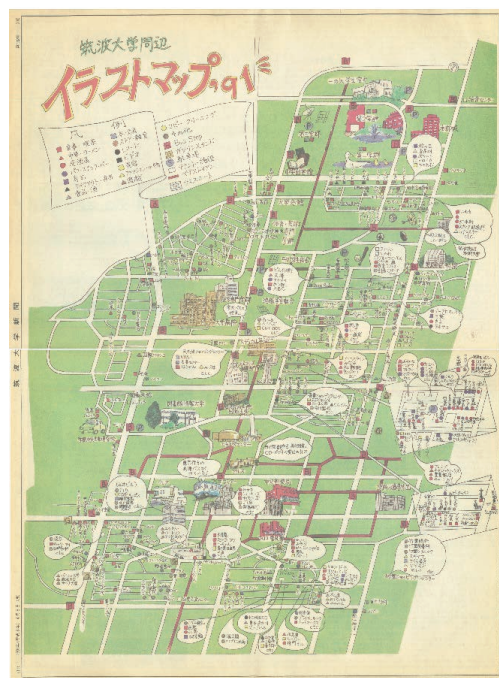


図3_徐々に栄えてきたつくばを写す1991年マップ

■ TX 開通、2006年編 (第252号)

つくばエクスプレスは2005年8月に開通しました。それに伴い、マップにもTXつくば駅が登場しています。また、2004年には図書館情報大が筑波大と完全統合され、現在の春日エリアに図書館情報専門学群が登場しました。そして、百香亭の筑波大学店も同じ年にオープンしました。今でも百香亭は新歓時の利用も多く、筑波大生にとっては欠かせない店となっています。

この年、東京家政学院筑波女子大は筑波学院大（現日本国際学園大）へと名称を変更し男女共学となりました。なにかと変化の多いのが2006年のマップです。

このマップには右下にかわいいキャラクターが描かれています。手書きでありながらとても丁寧にまとめられていて、非常に見やすいです。筆者は個人的にこのマップが一番の好みです。

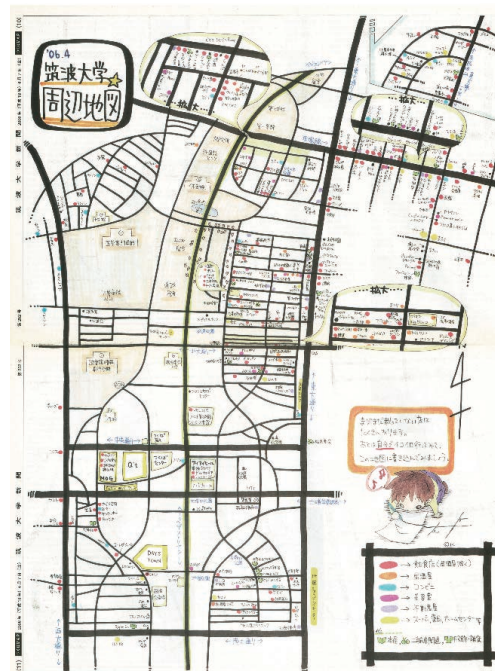


図4_TXが開通した2006年マップ

■ デジタルに挑戦2009年編 (第276号)

2009年のマップから手書きのイラストではなく、デジタルイラストのマップに切り替わりました。こちらも芸術専門学群の学生に作成していただきました。これまでは、手書きのイラストで作成者の味が出ていましたが、デジタルマップはかなり見やすい印象があります。作成者の方も「見やすく、更新もしやすいと考えた」と語っています。

また、2007年には学群の改組・再編があり、これまで続いてきたナンバー学群が廃止されました。これに伴ってマップ上の表記が、第一エリア、第二エリア、第三エリアとなっています。ナンバー学群の名残は今でもあり、どこの学群がどこのエリアで授業をしているのか、覚えるのに苦労した記憶があります。



図5_デジタル化した2009年マップ

■最新のつくばマップ2025編(第387号)

最新のつくばマップはデザインを近年のものから少し変更しました。昨年度に芸術専門学群の学生が入部してくれたことで、マップのデザインを変更することができました。飲食店を赤色の文字で表記しています。飲食店いることが分かります。

また、2024 年は筑波大学マレーシア校が開校しました（マップには掲載していません）。そして学内では平砂エリアに、未来社会デザイン棟を建設し、体芸エリアには「Invictus athlete Performance Center」という、野球・ソフトボールの室内練習場が建設されています。これからも筑波大の変化には目が離せません。

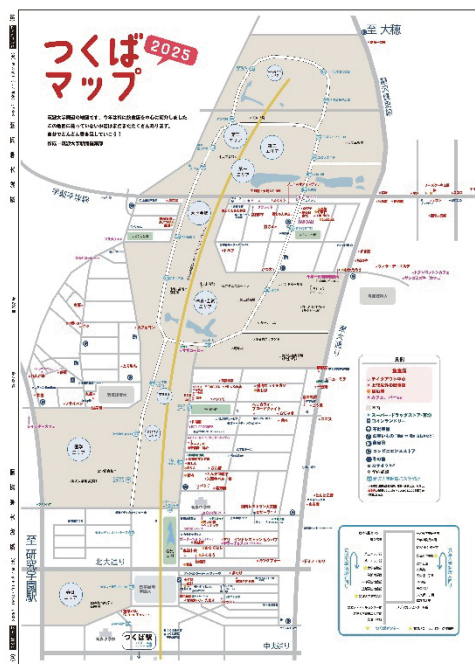


図6_最新の2025年マップ

■終わりに

これまでのつくばマップを振り返ってみていかがだったでしょうか。現在、つくばマップはここで紹介できていないものを合わせて 45 枚あります。一つも同じ物はなく、それぞれに作成者の個性や、時代に合わせた情報も記載されています。自分の入学年のマップを見れば、その時の筑波大周辺の情景が浮かんでくるのではないのでしょうか。

ちなみに、マップのお店情報は毎年更新しています。車で筑波大の周辺をぐるぐる回りながら、前年度のマップと比較し、調査をしています。なかなか根気のいる作業です。

これらすべてのマップは現在、筑波大学新聞の HP で閲覧することができます。

筑波大学新聞 HP つくばマップ展

【<https://www.tsukuba.ac.jp/about/public-newspaper/tsukuba-map.html>】

これを読んで少しでも気になった方がいれば、サイトにアクセスしてもらえると嬉しいです。これからも見やすく、時代を反映したつくばマップを作成していくので、ぜひ見てみてください。

出典

- ・筑波大学新聞 新入生歓迎号（1981 年 4 月 8 日発行）
- ・筑波大学新聞 第 82 号（1985 年 2 月 16 日発行）
- ・筑波大学新聞 第 132 号（1991 年 4 月 8 日発行）
- ・筑波大学新聞 第 252 号（2006 年 4 月 7 日発行）
- ・筑波大学新聞 第 276 号（2009 年 4 月 9 日発行）
- ・筑波大学新聞 第 387 号（2025 年 4 月 2 日発行）

筑波大学新聞つくばマップ展 Web サイト

【<https://www.tsukuba.ac.jp/about/public-newspaper/tsukuba-map.html>】

（情報学群 知識情報・図書館学類 2 年 川畑悠成）

3. ニュージーランドで学んだこと ～北島編～



こんにちは。前号で引退を宣言していましたが、事情が変わりペでじゃーなる執筆を継続することになりました結城です。

私は「海外で実際に生活し、知見を広めるとともに将来の進路・ゼミを決める参考にしたい」との思いから、筑波大を休学しニュージーランドに約3か月間渡航してきました。昔から取り組んできた自転車で全土を回りながら、現地の酪農家やホテルで働いたりして経験し、考えたことを皆さまと共有できたらと思います。ニュージーランドでの生活やキーウィたち(ニュージーランド人の愛称)の価値観・考え方はとても刺激的で、私の世界観は大幅に広がりました。個人的な話ですが、こんな筑波大生も居るのだと知っていただけたら幸いです。

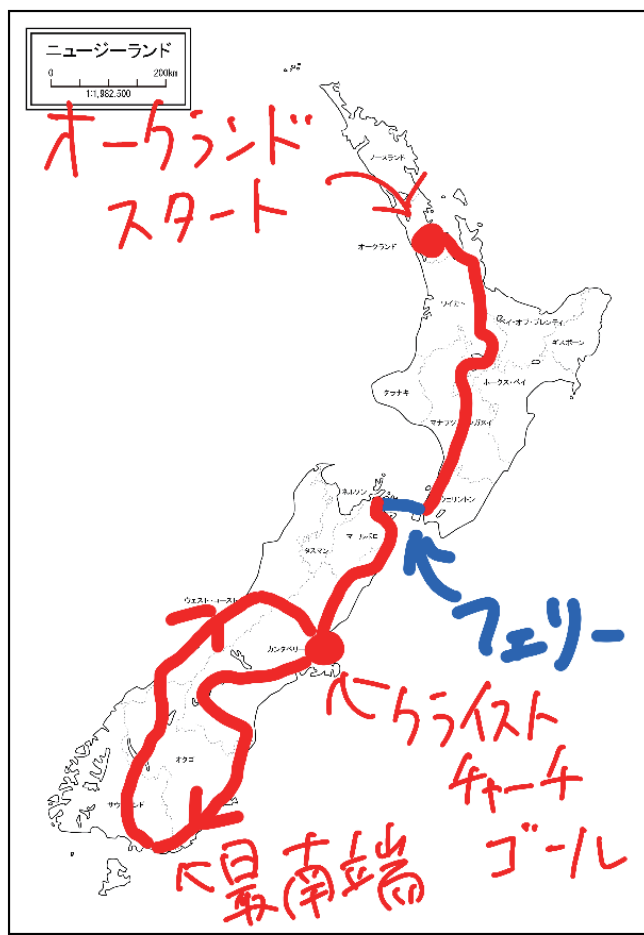


↑果てしなく続く山々と放牧地

記事の流れを説明します。1回の記事には収まらない内容ですので、今号は滞在の概要やニュージーランドを選んだ理由を説明した後、時系列順に北島編として、道中に経験したことを話していきます。

次回以降では、その後渡った南島での出来事や、ニュージーランドへの所感を述べようと思います。

右の地図は私の滞在の軌跡を表したものです。結果として北島北側のオークランドを出発し、南島最南端に到達した後、西海岸を回って南島真ん中のクライストチャーチまで戻ってきました。正確な移動距離は分かりませんが、バスやヒッチハイクでの移動を除き、約3500km、色々な場所に立ち寄りながら自転車で走破しました。



■なんでニュージーランドに行ったの？

ただ海外生活をするだけなら、他の国でも良かったかもしれません。しかしニュージーランドを選んだのには数多くの理由があります。そしてその選択は大正解でした。

渡航先を選ぶにあたって考えた最低条件は、「英語圏」かつ「ワーキングホリデービザ制度がある」ことです。英語圏なのは日常やビジネスレベルで実用できる外国語が英語しかないからです。ワーキングホリデービザは長期滞在や就労に必要となります。この条件を満たす国は、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、イギリス、アイルランドの5か国です。

この中で将来的に住んでみたいと考えていたのが、気候が温暖で豊かな自然があり、国際情勢的にも安定しているオーストラリアとニュージーランドでした。

特にニュージーランドは「サイクリングパラダイス」と言われるぐらい自転車が人気の国で、国を挙げて市街地や景勝地の自転車道整備を行っています。また、飛べない鳥キウィを始め肉食の哺乳動物が居なかったことによってガラパゴス化したユニークな動植物

が豊富です。自転車で全土を回る上でも、人間の命を脅かす大型動物が居ないことは本当に良かったです。熊の出没に備える必要がある日本の東北地方や北海道に比べ、動物の襲撃に対しては安心して滞在することが出来ました。しかし、サンドフライという蚊より小さい吸血性のブヨがどこにでも生息しており、刺されると患部が大きく赤く腫れ、耐えられない痒さに襲われました。虫よけもあまり効かず、半ズボンをいつも履いていた私は格好の獲物になりました。ニュージーランド滞在中の最大の敵はサンドフライと言ってもいいでしょう。日本から持っていったムヒが本当に役立ちました。

日本より犯罪件数が多く治安が少し心配でしたが、体感としてはかなり安全に感じました(特に田舎)。ただし観光地や都市部には多種多様な人々が集まるので、危険な雰囲気を感じることはありました。警戒は解かない方が良いでしょう。



↑北島真ん中に位置する世界遺産のトンガリロ国立公園。
天気に恵まれ気持ちいいハイキングを楽しめた。

【北島編】

■オークランドの4日間

直通便よりも費用を抑えられたため、成田空港からフィジーのナンディー空港経由でニュージーランド最大都市のオークランド空港に飛びました。その後オークランドに4日滞在し、自転車を購入したり、滞在している宿や本屋、食料品店でサイクリングや生活の情報を集めたりしました。

自転車については日本から持ってくることも考えましたが、自転車抜きでも荷物が相当あり、輸送費が4万円以上かかりそうだったことや、ニュージーランド国内では日本で乗っていたロードバイクよりもマウンテンバイクの方が道路事情に合っていること（ペデジャーなる前号記事「廃線路跡を利用したサイクリングロードの日本 NZ 比較」参照）などから、自転車のサイドバッグやヘルメットなど装備品を持参して、自転車本体は現地で購入することに決めました。



↑深夜到着のためオークランド空港で一夜を明かした。
ウサギは母のお守り



↑購入したアメリカ製の中古 MTB。
フロントサスペンション前後でキャリパーブレーキ、26インチタイヤの年代物。よく走った。

■自転車購入！だけどトラブル発生！

TreadMe という日本におけるヤフオクのようなサイトで中古自転車を落札し、指定された住所を調べてみると、そこは個人宅ではなく中古の自転車屋でした。名前を伝えると落札した自転車を持ってきてくれましたが、写真とは異なりバーエンドバー（自転車のハンドルに取り付ける角のような持ち手）が付いていませんでした。TreadMe の落札した商品の写真を見せながらバーエンドバーが付いていないと言うと、すぐに別の自転車のバーエンドバーを取り外して取り付けしてくれました。また、サドルやペダルも少し傷んでいるようだったので、他の自転車のもので交換してもらえないかとお願いしたら、面倒くさがりながらも対応してくれました。

整備や試乗が終わり、いざ購入するという段階でトラブルが発生しました。二重で料金を請求されたのです。まず、私は TreadMe で落札する際に商品の代金である 549 ニュージーランドドル (NZD、1NZD = 約 88 円、549NZD = 約 48300 円) を既にオンライン決済していたのですが、店側に「TreadMe での支払いをキャンセルするから店頭で再度支払ってほしい」と要求されました。抵抗しましたがにっちもさっちもいかないので、目の前で TreadMe 運営にオンライン決済キャンセルのメールを送信してもらい、渋々店頭で再度支払うことに納得しました。

しかし、決済方法に Wise という国際銀行のデビットカードを使用していたため、お金は既にニュージーランド用に作成した口座 (以下 NZ 口座) から引き落とされています。

さらにタイミング悪く NZ 用の口座への入金確認が遅れており、残高は 556NZD でした。支払いはチューブ二本とパンク修理キットを合わせて 573NZD で 20NZD 弱足りません。そこで何とか交渉を試みたところ 556NZD に負けてくれました。

英語でこういった交渉をするのは初めてだったので、かなり緊張しましたが、こういった実戦的な英語の使い方は意外とこの先の滞在で多用することになります。

Bicycle Workshop Job sheet		JOB #	SHOP DETAILS
Full Name: Yuki Takeda			CHECK IN BY:
Existing customer ☐ yes Added in Google Calendar ☐ yes			Name: Yuki
Address: 101 St Albans street (on the left)			Date: 16/1/25
Cell Phone # 027 513 6953			Time: 12:30
Home Phone #			NEEDED BY:
Work Phone #			Date:
Email Address: oobata@tshu.hk@gmail.com			Time:
Bike Brand: GARY		Model: FISHER	Size: Colour: GRX
Accessories in with bike: KAITAI			
SERIAL NUMBER:			
WORK REQUIRED:			PRICE
Bluebook/Sale: ☒			
Full Service: ☐			
NEED DON		SALE	549
CHECK LIST		2 TUBES	20
Wheel Fit ☐ ☐ ☐ ☐		PUNC KIT	4
Brake Adj ☐ ☐ ☐ ☐			
Brake Cable ☐ ☐ ☐ ☐			
Headset ☐ ☐			
Stem & Bars ☐ ☐			
Pads ☐ ☐ ☐ ☐			
Tyres ☐ ☐ ☐ ☐			
Puncture ☐ ☐ ☐ ☐			
Hub/Cones ☐ ☐ ☐ ☐			
Wheel True ☐ ☐ ☐ ☐			
Bottom Bracket ☐ ☐			
Chain ☐ ☐			
Hanger ☐ ☐			
Gear Adj ☐ ☐ ☐ ☐			
Gear Cable ☐ ☐ ☐ ☐			
Lube Cable ☐ ☐ ☐ ☐			\$556
Torque Bolts ☐ ☐			
EMAIL REQUESTED ☐ yes		TOTAL COST:	
Work on: YIC		Date: / / 25	\$573
Work completed by:		Date: / / 25	
Ride/Work checked by:			
COLLECTION			
Customer's signature		Date: / / 25	Time:

■ まじめだけど、割とゆるい



私が自転車を購入した中古サイクルショップ。数百台の自転車が所狭しと敷地内に並べられ、数人の職人が忙しそうに作業をしていた。色々な年代の人たちがひっきりなしに店を訪れ、自転車の人気の高さが伝わってきた。

この自転車購入の顛末は、その後無事にオンライン決済のお金も戻ってきたので被害は NZ 口座への入金が認められるまで数日間の金欠のみで済みました (クレジットカードは Wise より手数料が高く、レートが悪いのであまり使いたくなかったのです)。

ただ、このお店の自転車の整備はきちんとしていて、パーツや新品タイヤの交換なども無料で行ってくれました。このように基本的な仕事は真面目だけど、細かい所は結構おらかな特徴は多くのニュージーランド人に共通していました。これは人種や元の国籍に関係なく、どちらかと言えばニュージーランド全体の穏やかで明るい雰囲気が影響しているのだと思います。

無事に自転車を購入した後はオークランドの動物園や美術館、戦争博物館など市内を散策しました。ちなみに、泊まっていた宿にもある程度ニュージーランドを走ってきたサイクリストが 2 人居て、安く泊まれる国営のニュージーランド自然保護局 (DOC) キャンプ場パスの存在や道路・

買い物事情について詳しく知ることができました。ニュージーランドは世界的にサイクリング
人気が非常に高いので、各地で他のサイクリストと情報交換し合うことができ、非常に役に立
ちました。

■牛牧場での住み込みインターン

オークランドを出発した後、少し南下したパエロアという町の近くにある牧場で働きました。
WWOOF という有機農場で学びながら働く代わりに、食事と住居を提供してもらえるサービ
スを使い、インターネットで事前にやりとりをして家に向かいましたが、実際に敷地に踏み入
る時は緊張しました。

恐る恐る敷地に入ると、まず大きな犬2匹が駆け寄ってきました。その後優しくなおばちゃ
んが現れ私を歓迎してくれました。その女性は牧場のオーナーであるティナ（Tina）さんとい
う方で、イギリスから数十年前に移住してきたと話してくれました。旦那さんが病気で早逝し
てしまい、子供たちも既に成人して家を出ているため、牧場の手伝いが必要ということで手伝
いを募集しているとのことでした。

■動物に囲まれて

牧場のメインは乳牛でしたが、その他にも肉牛や鶏、豚を飼っていました。そしてトウと
バウンドという犬2匹にギャリーという猫も居るため、本当に多種多様な動物に囲まれて生
活できて楽しかったです。また、ティナさんはひとり暮らしでしたが、友達や子供、孫、南
島にあるオタゴ大学の農学部から来た学生など色々な人が家にやってくるためとても賑やか
でした。

夜に外で焚火を囲みながらワイン片手に話し合うなんてこともあり、他者と触れ合う時間
をととても大切にしているのが伝わってきました。またある夜には一緒にロードオブザリング
（ニュージーランドで撮影されたファンタジー映画。超人気）を観ました。





仕事としては、基本的に天然草で牛を放牧しているため、毎日放牧する場所を移動させることから始まりました。そして、農場の水やりをしたり、プラムやコプラズマという植物の果実を収穫したり色々なことをしました。



↑家に付いていたプール。仕事終わりなど、天気が良く暑い日などは泳ぐと爽快な気分です。毎日シャワーだけだから水風呂替わりにも？

↓ダイニングルーム。とても大きいテーブルで、大人数でも大丈夫。日光が差し込み、風も通るため気持ちいい。



■イギリスから来たティナさん

約1週間の滞在では、動物と豊かな自然に囲まれた生活の素晴らしさを全身で感じる事ができました。都会の喧騒から離れて、天気と動植物に向き合いながら日々の仕事をこなしていく生活は新鮮で面白かったです。

特にティナさんはとても優しく魅力的な人で、ニュージーランドに来てから初めて信頼関係を結ぶことができた方でした。彼女は元々イギリスに生まれ育ったのですが、学生時代に訪れたニュージーランド（一緒！）に居心地の良さを覚えその後移住することを決断されたそうです。「ニュージーランドはイギリスよりも忙しくなく、人が明るく優しい。気候も温暖で自然も美しく気持ちが良い」と語っていました。

確かにニュージーランド、特にティナさんの家の周りでは時間は穏やかにゆっくりと過ぎているような感じがしました。日本で成人式に出席した後慌ただしくニュージーランドへ渡航し、頼りにできる人が誰も居ない状況で日々過ごしていたので、ティナさんの家で初めて心地付けたのかもしれません。

また、ニュージーランドは一日の気温差が大きく夜が寒いという話をしたら、暖かい寝間着を買いにショッピングセンターまで連れて行ってくれたり、キャンプ用のブランケットをくれたりするなど本当に親切な方でした。ティナさんの家を出発した後も気にかけてくださり、本当に心の支えになりました。

■色々な側面

ただニュージーランドでの牧場生活は楽なだけではありません。毎日の動物達や作物のお世話、国際情勢などによって変動する粉ミルク価額、不安定な搾乳量、土地のローンの支払い…。大変なことはたくさんあります。特に牧場経営の責任の大きさや孤独に耐えられず精神を病んでしまう人も居るとのことでした。田舎での生活は都会的な刺激の少ない世界です。人とのつながりやそれぞれの趣味がなければ辛いでしょう。短期滞在の私ですら、サイクリングや電子書籍がなければ退屈だったかもしれません。



↑ティナさんの趣味の一つ、BOVARIL(イギリスの調味料)の瓶のコレクション

最終日の夜は、感謝の気持ちを込めて日本式の卵焼きを作りました。醤油はソイソースとしてニュージーランドでも普及しており、日本から持参した出汁と一緒に味付けしました。とても気に入ってくれて、少し恩返しできたとうれしかったです。

■次回予告

これにて北島編は終わりです。次回の南島編では北島よりパワーアップした自然やイベントが私を待ち構えていました。南島最大都市クライストチャーチで開かれた日本のポップカルチャーイベントであるジャパンフェスタに参加したり、たまたま出会ったサイクリストと南東海岸を一緒に回ったり色々盛りだくさんです。お楽しみに！



↑住み込みのお部屋はカップルが来ても良いようにとダブルベット



↑プラムケーキ作りに挑戦する私。ベリーパイみたいで美味しかったです。

(社会国際学群 国際総合学類3年 結城希)

4.「実録」留学生生活のリアルな1週間



Guten Morgen! こんにちは。今年の3月からドイツ・ボンに交換留学をしている3年生の金苗（金）です。ボン大学は筑波大学の協定校で、SSC 公募型を使って応募しました。ボンは旧西ドイツの首都で北西部に位置する落ち着いた街。ベートヴェンの生まれた故郷としても有名です。そして、ボン大学はマルクス・ニーチェ・ベートーヴェンなどの有名人が在籍していた歴史ある大学です。今回は加藤さんの記事の内容とも少し重なりますが、留学を決意してから実際に旅立つまでの準備期間をさらっと振り返りつつ、ドイツでのとある“濃い1週間”をリアルに紹介します！

1年生の春頃には留学を意識し始めました。就職活動と授業の兼ね合いを考えると3年生の春から1年間留学に行くのがベストだと判断し、春からの留学を決意しました。そこから留学先の国選び、申請書類、奨学金、ビザ、荷物の準備など地道な作業が続きます。留学に対して華やかなイメージをもっていたが、実際には地道な作業と語学学習に1年半程度追われます。



図1_2023年6月24日に筑波大からのアナウンスがあり参加した欧州留学フェア、留学先を決めるにはもってこいです。

あっという間に出国日が来ました。1年間日本を離れ、両親とも別れるというのに、不思議と悲しさはほぼ感じませんでした。留学中にどんな経験ができるのだろうかというワクワク感と少しの不安で胸がいっぱいでした。

羽田空港から約14時間かけてケルン・ボン空港に到着。長時間フライトでへとへとですが、ここからバスに乗っ

て最後は徒歩でホテルに向かいます。ドイツのボン大学には Study Buddy という制度があり、申請をすれば留学生1人につき1人のドイツ人のボランティア学生がついて留学中の手続きをサポートしてくれます。その Buddy が空港まで来てくれたので、一緒にホテルまで行きました。ここから私の留学生活がスタートしました！

次は普段の生活についてとある1週間を深掘りしてご紹介します。



図2_ケルン・ボン空港

これは実際の5月の一週間を簡単にまとめたものです↓

	5月24日(土)	5月25日(日)	5月26日(月)	5月27日(火)	5月28日(水)	5月29日(木)	5月30日(金)
7:00	起床						
8:00	移動						
9:00					起床	起床	
10:00	Japan Tagに出店するお好み焼き屋さんでアルバイト				Surveillance Imaginary on screen		起床
11:00			起床	起床			
12:00		起床	プレゼン練習	ご飯		友達とケルンで遊ぶ	
13:00		家事・何もしない日	お昼ご飯	プレゼン練習			
14:00			プレゼン練習	Sociologyプレゼン本番	Documentary Theater(授業)		英語(Academic Writing)の授業
15:00							
16:00			ドイツ語(A2.1)の授業	ドイツ語(A2.1)の授業			友達と旅行の計画を立てる
17:00						帰宅	
18:00	友達とJapan Tagをちょっと楽しむ		帰宅	帰宅	図書館	家事	
19:00							
20:00			プレゼン練習				帰宅
21:00	帰宅						キッチンの掃除
22:00					帰宅		友達と旅行の計画を立てる
23:00							
0:00							
1:00							
2:00			就寝				
3:00							就寝

■土曜日：ドイツで初バイト

ドイツでは交換留学生でも時間制限付きでバイトが許可されています！夏休みは思いっきり旅行したい！でもお金が圧倒的に足りない……。ということで、ドイツ在住日本人向け掲示板から日本食レストランの広島風お好み焼き屋台での短期バイトに応募しました。デュッセルドルフで開催された「JAPANTAG(日本デー)」の屋台で、ボンから電車で1時間半かけて会場に行きました。夜には打ち上げ花火もありました。今年は雨だったので38万人、去年は68万人が訪れた日本のビッグイベントです。ちなみに、デュッセルドルフは日系企業が多く、駐在日本人が集まる街です。日本食レストランやスーパーが立ち並ぶ道は「リトル東京」と呼ばれています。



図3_ お好み焼きの受け渡し業務の様子

実は……飲食店でバイトをしたことがなかったので、留学中最初のバイトが、人生初の飲食店バイトにもなりました。お好み焼きの受け渡しを担当し、整理券の番号をドイツ語・英語で呼び“Enjoy”, “Guten Appetit” (めしあがれ) と笑顔で言う簡単な仕事ですが注文が途絶えることがほぼないので、忙しかったです。

ポイントは“Enjoy”, “Guten Appetit” と言うときに目を合わせることです。ドイツでは乾杯の時に目を合わせないと不幸になるという文化が根付いています。また、ドイツでは会話をするときに目を合わせないと「怪しい」「信用」できないという印象を与えてしまいます。中世に相手のグラスに毒を入れていないことを示すために目を合わせ、乾杯の衝撃で相手の飲み物が自分のグラスに入るくらい強くぶつけ合うことに由来しています。日本人としては少し照れますが頑張っています。

そして、お好み焼きの値段はなんと……17ユーロ(約2720円)です！日本の感覚だとかなり高いですがドイツの物価高、おいしさ、日本食の相場を考えると妥当な金額です。時給は16ユーロ(2560円)でした。ちなみに、ドイツで日本のラーメン屋さんの美味しいラーメンは14ユーロ(2240円)します。日本食は贅沢品。節約のためにも、普段はなかなか食べられません。(日本に帰りたくなる……)

(1ユーロ = 160円で計算)

■月・火曜日：プレゼンに追われる

火曜日に英語で「国家」に関する社会学の授業を受けています。毎回3～4人の学生が英語で課題の文章・論文を読んで10分間のプレゼンをするのですが、この週は私の番でした。論文のテーマは「INGO(国際非政府組織)がいかに世界文化v(国家・国民を超えた文化の概念)の形成に影響を与えているか」。社会学について知識ゼロからの挑戦で、社会学の基本的な用語(リアリズム、リベラリズムなど)を理解するのも一苦勞。プレゼン後、教授の質問に対して的を外れた返答をしてしまい、英語の発音にも反省点がありました。とりあえず終わったので一安心です。

また、月・火はそれぞれ 90 分間のドイツ語の授業もあります。15 人程度の少人数クラスで行われます。イタリア・トルコ・イラン・アメリカ・スペイン・中国などの国から来た留学生と一緒に授業を受けていますが、私以外は全員大学院生で少々肩身が狭いです。しかし、いろいろな国から来た人と話すことができるのは留学の醍醐味だと思います。

■木曜日：祝日なのに店が閉まる！？

木曜日はドイツの父の日かつキリスト昇天祭で祝日だったので、遊びに行きました。普段は 16 時から 17 時半までドイツ語の授業を受けています。ちなみに、ドイツの祝日・日曜日はレストランとカフェ以外の店が閉まります。駅ナカの店は営業しています。かなり不便で、ドイツ人も文句を言っている人が多い印象です。一方で、日曜日に買い物ができないので、お金は節約できます。

この日は、来年 1 月にワーキングホリデーで日本に来る日本語学科のドイツ人大学院生と交流しました。日本に興味を持っているドイツ人と話すのは楽しくて、「ドイツ人って本当にこういうの?」「なんで、ドイツってこういうの?」など文化の違いについて話すと話題が尽きません。ちなみに、「カフェやレストランに行くとご飯の写真を撮る私（日本人）」の文化も、ドイツ人からは不思議に見えるとのことでした。なるほど……

■金曜日：旅行の計画とアカデミックな英語を学ぶ

英語学科のアカデミックな英文エッセイを書く方法を学ぶ授業をとっています。この授業は少人数クラスで、ネイティブのアメリカ人の先生が担当です。周りのドイツ人の英語のレベルが高くて圧倒されます。ドイツ人大学生は流暢な英語を話すので、ドイツ人とは英語で話すことが多いです。

授業が終わった後は、来月の一週間の大型連休中の旅行の計画を立てました。韓国人の交換留学生と一緒に、ロンドンとエディンバラに旅行へ行きます。ロンドン旅行では美術館、博物館、ハリーポッターにゆかりのある場所に行く予定です！

旅行の計画の後は、冷蔵庫が汚すぎて管理人に怒られたので、寮に帰ってルームメイトと一緒に冷蔵庫の掃除をしました。（私の住む学生寮では 8 人でトイレ・風呂・キッチンを共有するので掃除をする時も一緒に行います）

この一週間はかなり忙しかった方で、普段はもっとゆっくりとした日常を送っています。日々、発見と学びが多いです。留学中にやり残すことがないように毎日を大切に生きていきます。ではまたお会いしましょう～～。Tschüs~~ ☆ミ

（情報学群 知識情報・図書館学類 3 年 金苗慧真（金慧欣））

5. つくばもぐもぐ記



初めまして。情報学群知識情報・図書館学類所属の山田久美子です。私は大学進学を機につくばで一人暮らしをはじめ、現在4年生になるのでつくば暮らしも今年で4年目です。

ところで皆さん、ご飯を食べることは好きですか？ 私は大好きです。つくばにはおいしいご飯屋さんが多く、1年生のときから様々なご飯屋さんを訪れてきました。行ってみたいご飯屋さんを心の中にリストアップしておき、いざというとき(?)にすぐに候補を出せるようにしていました。気になっているお店には必ず行くというように決めており、そのリストの中には「RanRan」という大盛り料理で有名なお店も含まれていました。つくばのご飯事情に詳しい方なら「あ！」と思ったかもしれません。2023年6月16日、RanRanは店主が体力の限界を迎えたことにより、43年の歴史に幕を下ろしました。

私の入学は2022年4月です。友達の家がたまたまRanRanの近くにあったためお店の前を通ることが多く、RanRanに行こうという話を出したことは何度もありました。しかしながらその友達曰く「おいしいけどとにかく大盛りだから心の準備をしてから行きたい」とのことで結局松屋東大通り店(RanRanから徒歩1分)に行ったり、ラーメンを食べたりしていました。でも「まあいつか行けるし行くし」、という甘い考えがあったのかもしれません。私がRanRan閉店を知ったのは最終営業日が終わってから1週間後くらいだったと思います。なんとなくXを見ていたらRanRanの閉店に関しての投稿をしている人がいて、信じられない気持ちで調べたところRanRanの公式Xアカウントで閉店のおしらせが投稿されていました。「自分の目で見て確かめよう」と思い、大学の帰りに少し遠回りをしてお店の前を通ってみると張り紙がしてあって、本当に閉店してしまったんだという実感をようやく得た覚えがあります。

RanRanが閉店してしまったのは本稿を書いている今(2025年5月16日)から2年前のことであるにもかかわらず、いまだに行けなかったことを悔やんでいます。

この悲しい(悔しい?)出来事を機に、私はつくばの行ってみたい飲食店と行ったことがある飲食店を全てGoogleマップでリスト化するようにしました。

私が作成しているリストには、行ったことのあるご飯屋さんをまとめたリストと行ってみたいご飯屋さんをまとめたリストの二つがあります。つくばで行ったことのあるご飯屋さんリストに含まれているお店は125か所もあり、自分でも驚きました。複数回行っているお店もちろんあります。私の外食回数の多さが分かるかもしれません.....。

さて、ここまでで①私のご飯大好きなこと②行ったことない飲食店に行くということに対して執着を持っていること——の二つが伝わったと思います。

ということで今回はこの記事を書くということの大義名分にして「つくーばで暴食」リストの飲食店を訪れてみたいと思います。それではGO！！！！！！

●とんとこ豚

去年からずっと行ってみたいと思っていたとんかつ屋さんです！ グルメレビューサイト食べログによる「とんかつ百名店 2022」に選出されているお店で、以前訪れた際には1時間以上の待ち時間で断念し、松のや（松屋系列のとんかつのチェーン店。天久保四丁目にある）。に行った思い出があります。そのため今回行けることが本当に楽しみで、わくわく で予約しました。夜の部開店直後の5時という、夕食には少し早い時間に訪れたのですが、開店直後に来たお客さんと予約ですぐにいっぱいになっていました。そのため、行ってみたい方は事前に電話予約することをおすすめします。

事前にネットでメニューを見た上でお店に行ったのですが、実際にメニューを見るとやはりどれもおいしそうで迷ってしまいました。一番人気は味噌カツ定食とのことでしたが、それ以外にもエビフライやヒレカツなど様々なメニューがありました。

私は、かなり迷った末に三右衛門ロースかつ定食の150gを注文しました。決め手は「ロース肉は『飲める油』とも評されるさっぱりとした脂身。噛めば噛むほど味わいが楽しめる肉質」（メニューから引用）という言葉です。飲める油という謳い文句が魅力的すぎました。今年の冬くらいから油物に対して重く感じるようになってしまった（まだ21歳なのに）私ですが、飲める油なら最後までおいしく食べることができそうな気がしました。そんな気、しませんか？？？



ご飯とお味噌汁、キャベツの千切り、しば漬けがセットとしてついてきました。私はしば漬けが大好きなのですごく嬉しかったです。油っぽい口の中を一度リセットさせ、すっきりさせる効果もあって見た目以上の存在価値を感じました。温かいお味噌汁とご飯も嬉しかったです。一人暮らしをしていると自分一人のために汁物をつくるのが面倒になってしまったり、ひどいときにはご飯を炊くことすら面倒に思えてしまったりして、冷凍食品や出来合いのお惣菜を食べることがかなり多いです。そんな乱れた食生活を照らす一筋の希望を温かいお味噌汁から感じました。

話が若干それましたがここで主役のとんかつです。150gは少ないのではないかと考えていたのですがちょうど良かったです。「大盛り！」と書いてあるカップラーメンが多いと感じる胃袋のサイズの方は150gで足りるようです、ご参考までに。「飲める油」であるかどうかは分かりませんでした。スーパーで買うお惣菜のとんかつ、他のお店で食べるのとんかつよりも脂っこく感じなかった気がします。一口目の感動はガッツポーズレベルでした。衣は揚げたてサクサク、中はやわらか、でも脂っこさはなく豚のうまみや甘みを感じるとんかつでした。最高です。つくばってラーメンだけじゃないです。ちゃんと他のご飯もおいしい！ということをおい出しました。ありがとう、とんとこ豚。

● SAINO インディアンレストラン サイノつくば店

駅直結の商業施設トナリエつくばスクエア (旧西武百貨店筑波店跡地)「以降『トナリエ』」の中のインドカレー屋さん。私の所属する学類の授業が主に行われる春日キャンパスとつくば駅は自転車で3分ほどの距離にあります。授業後などにふらっと立ち寄りやすいためトナリエ内のスーパーやドラッグストアにはよく行きます。しかし飲食店はあまり行ったことがありませんでした。そのため、今回行くことができてうれしかったです。土曜日のお昼に訪れたのですが、カレー2種、小ライス、ナン、デザートまでついたレディースセットが980円。1000円以下で買える幸せの最大値かもしれません！！



私はバターチキンカレーと豆のカレーを選びました。バターチキンカレーは甘めの味付けで辛いものが苦手な人でもおいしく食べることができそうだと感じました。豆のカレーは家で作ることができないと思いこんでいるので、久しぶりのインドカレー屋さんで食べることができてよかったです。

味とはまったく関係ないのですが、食べ終わった後満腹すぎて少しの間座っていたら店員さんがにっこりしながら「辛くなかった？」と聞いてくれました。ほっこり。

●煮干中華ソバ イチカワ

ラーメン好きなら知っている方も多いのではないのでしょうか。超有名店であり、こちらも食べログによる「ラーメン百名店」に2017年から8年連続で選ばれています(すごい)。私は1、2年生のとき平砂宿舎に住んでいたのでこのお店から徒歩5分圏内で生活していたのですが、お昼しか営業していないので完全夜型生活かつ寝坊癖のある私が行くことは不可能でした。今も寝坊癖は直っていないので朝から活動を開始し、列に並ぶことは不可能に近いのですが、おいしいご飯と記事のため友達を誘っていく予定でした。しかし、やはり起きることができず行くことができませんでした。ペデジャーなる夏号の執筆までには行きますとここに宣言します。無念。

私のご飯レポにお付き合いいただきありがとうございました！筑波大学在学中にここだけ行っておけ！！というご飯屋さんがあったらぜひぜひ教えてください。

参考文献：

RanRan X アカウント

https://x.com/ranran_tsukuba

とんどこ豚

<https://tabelog.com/ibaraki/A0802/A080201/8014484/>

煮干中華ソバ イチカワ

<https://tabelog.com/ibaraki/A0802/A080201/8014295/>

(情報学群 知識情報・図書館学類 4 年 山田久美子)

6. 筑波大生の青春の場 友朋堂書店を尋ねて



「友朋堂」この字面に懐かしさを覚える卒業生の方が多いのではないのでしょうか。そう、1980 年創業の老舗書店です。

■え、まだ営業していた！？

友朋堂が営業していると知ったのは教育実習で必要な教科書を購入しようと思ったのがきっかけでした。大学書籍部へ行ってみると、「『ゆうほうどう』なら買えるかもしれません」との返答が。「ゆうほうどう……友朋堂?!」そういえば、所属する筑波大学新聞の取材でお世話になった際、軽食・喫茶「CLARET (クラレット)」の宮下ご夫妻から「昔は友朋堂という書店があって……」という昔話を聞いたのを思い出しました。

さて今も営業しているのか。Google マップで調べると「営業中」になっていますが、ネット上には 2016 年に閉店したという情報もあります。半信半疑で電話を掛けると「はい、友朋堂書店です」という女性の声が聞こえました。実際に店舗を訪ねると小売業務を 2017 年の夏頃から再開したと聞きました。これはぜひとも詳しい経緯を聞いてみたい！ 早速取材依頼をすると快諾してくださいました。



「つくばの昔話」を手に笑顔で撮影に応じた坂入さん

大型書店やネット販売が主流の中、昭和の匂い漂う昔ながらの「街の書店」は貴重な存在です。現在に至る過程にはさまざまな紆余曲折があったようで……。今回は社長、柳橋治さんの娘で従業員をされている坂入香織さんにお聞きしたインタビューを中心にお届けします。

松見通りと北大通りが交わる十字路を南下していき、東に一つ筋を入った通りに友朋堂はあります。近くに「俺の生きる道 つくば店」や「大成軒 学園店」など筑波大生御用達のグルメスポットが点在しているエリアです。

到着すると、明朝体で書かれた「友朋堂書店」の文字とレンガ風の柱が目飛び込んできます。どこか昭和を思わせるような店構えですね。お店に入ると、木製の本棚に丁寧に本が並べられています。しかし、「閉店以降は 1 ブロックほどしか本がない状況だった」（以下、鍵括弧は香織さん談）そうです。



「友朋堂書店」の外観



創業当初から変わらない店内の様子

■ 2016年に店頭販売を撤退

友朋堂が店頭販売から撤退をした理由は取引先だった出版取次業（いわゆる問屋）の太洋社の自主廃業でした。香織さんによると、書店で販売している本は出版社から販売を委託されている本も含み、取次店の自主廃業により多くを返品せざるを得ない状況になったそうです。新たな取次店を探したものの、契約締結には至らず、客からの注文依頼を受けて本を販売する業務形態に変わり、事実上の閉店となったのが2016年2月のことでした。ここ吾妻店以外の他2店舗（桜店と梅園店）ではお店を畳むことになりました。

閉店を発表するとTwitter（現X）上では、閉店を惜しむ「友朋堂ロス」のツイートが多く投稿されました。「その反響の大きさに驚き、それだけお店が愛されていたことを実感しました」と当時を振り返ります。

実は香織さんが友朋堂の従業員となったのは閉店後から。従業員がいなくなったことでお店の手伝いをするようになったそうです。一連の混乱で返品できなかった一部の本はお店に残ったものの、ほとんどの本棚が空になってしまいました。「こんなに本がないのは本屋じゃない。みっともないからシャッターを閉めておけ」という父、治さんの指示の下、シャッターを閉めた状態が続きました。

■小売業務復活のきっかけはエアコンの故障

それから約1年後の2017年夏頃から小売業務を再開するようになります。転機になったのは意外にも、閉店から数か月後に発生したエアコン故障だったそうです。「故障を受け、2016年夏頃から風通しを良くするためにシャッターを開けるようにしました。すると全然本がないにもかかわらず、『開けてくれているだけでいいの』と次第に地域のお客さんが出入りするようになりました」。中には雑誌の定期購読をして応援してくれる客まで現れたそうです。

また、同年秋には筑波大卒業生が経営する地元出版社「結エディット」（茨城県・石岡市）の声掛けで、友朋堂の復活を願う市民らが「一箱古本市」を開催しました。当時がらがらだった本棚に市民が持ち寄った古本を入れて販売するというもので、かなりの盛況だったといえます。この古本市がきっかけで客足が伸びていきました。最初はかねてからの常連さんが多かったものの、客が客を呼び、親子連れなど幅広い年齢層の客が来店するようになりました。

この変化を見て態度を変えたのが社長の治さんでした。最初は「余計な本を仕入れるな」と言い小売業務の再開に後ろ向きだったものの、徐々に態度が変わっていきました。「古本市で棚に本が並んでいる様子やお客さんの声を聞いて、父も開き直り、お店を開けることに前向きになってくれました」。小売業務再開後、本棚に並ぶ数も増えていき、現在に至ります。

■地域の本を多く仕入れ

香織さんに友朋堂ならではの魅力や特徴を聞いてみると「地域の本はできるだけ仕入れるようにしています」との回答が返ってきました。店内で特に目を引くのは筑波書林（千葉県・松戸市）が発行する書籍です。筑波書林は株式会社茨城図書の出版部門として1978年に創設され、地域の記録を残すことを目的とした「ふるさと文庫」は500巻も刊行されています。店

内には「鹿島開発前史」や「常陸ふるさとの唄」「笠間満州分村誌」などが並び、茨城県にゆかりのある単語に興味がそそられます。香織さんによれば、「ふるさと文庫」は限られた数しか発行されておらず新品を置いている書店はほとんどないそうです。これを目当てに訪れる客もいるそうで友朋堂のメイン商品になっています。

他にも、「科学の街つくばにある書店だから」「小さな子どもにも本に親しんでもらいたい」ということで、科学に関する本や絵本も積極的に仕入れているとのことでした。



定価の半額で販売してある筑波書林の「ふるさと文庫」

■「駄菓子屋のような書店」目指す

今でも筑波大の卒業生は月に1回ほどの頻度で訪れるそうです。「これまで筑波大生には本当にお世話になってきました。お客さんとしてだけではなく、アルバイトとして働いてくれた学生や卒業後に正社員になってくれた人もいて、感謝しかありません。今でも教科書販売の時期は運搬業務を手伝ってくれます」。

閉店から再出発をして今年で8年目。香織さんは駄菓子屋のような書店を目指していきたくて語ります。「気軽に足を運んでもらえる書店を目指していきたくてです。本との偶然の出会いを楽しみながら、本を見つける楽しさを味わってもらえたらと思います」。

■「良い本がそろっている」

取材を終え、店内を撮影していると思い思いに本を手取る女性2人組がいました。2人は職場の友人同士で近くを通ったついでに訪れたそうです。その1人の50代女性は「本の数こそ多くはないけれど、良い本がそろっていて仕入れに心がこもっている印象を受けます。最近では大人の本として絵本を読むことが多く、『100万回生きたねこ』が置いてあるのに驚きました。大きい書店へ行っても出会えないことが多く、うれしかったです」とにこやかに語ってくれました。

■おわりに

今、筑波大周辺には「コーチャンフォー つくば店」やイーアスつくば内にある「ACADEMIA」、 「TSUTAYA デイズタウンつくば」など大手の書店が身近に多くあります。一方で友朋堂のような街の本屋さんは稀有な存在です。本の数こそ少ないものの、店内の雰囲気はどこか温かさがあり、地域の歴史を記録した貴重な本もそろっています。今回の取材を通じて、書店は本との思いがけない出会いを楽しむ場所であるのだと改めて実感しました。多くの筑波大生にとって「青春の場」である友朋堂が今後も存続していくことを願いながら、僕自身も定期的に足を運びたいと思います。

店舗情報・友朋堂書店(吾妻本店)

- ・電話番号 029-852-3665
- ・住所 茨城県つくば市吾妻3丁目8-6
- ・営業時間 平日 10時～18時

参考文献

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8F%8B%E6%9C%8B%E5%A0%82%E6%9B%B8%E5%BA%97> (最終閲覧 2025年6月1日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AD%91%E6%B3%A2%E6%9B%B8%E6%9E%97>
(最終閲覧 2025年6月1日)

(社会・国際学群 社会学類4年 川上真生)

編集後記

今号もペデジャーなるをお読みいただきありがとうございます。今年度、編集長を務める川上真生です。メンバー6人の原稿のうち、半分が海外の話題と国際性あふれる内容となっています。私は今年で平砂宿舍生活4年目に突入するのですが、マンチェスター大の寮の広さや収納の豊富さに驚きました。英語で交渉を試みたり、バイトにチャレンジしたり、海外で奮闘する筑波大生のレポートは見どころ満載です。残りは「食」「マップ」「書店」と卒業生の先輩方にも馴染みあるものが揃いました。「RanRan」は一昨年閉店してしまいましたが、「友朋堂書店」のように閉店から復活を遂げたお店もあります。「つくばマップ」には懐かしさを覚えた卒業生の方も多いのではないのでしょうか。次号以降も現役学生の編集委員独自の視点で喜怒哀楽あふれる記事をお届けしてまいります。どうぞご最良に！

社会・国際学群 社会学類4年 川上真生



X (旧Twitter)、Facebook で筑波大学の情報を発信しています



事業・リレーション推進室では、大学や在学生の「今」を伝えるため卒業生に向けてX (旧Twitter)、Facebook でも情報を発信しています。

学生の様子、学内の景色や、大学の取り組みなどはもちろん、在学生・卒業生が交流できるような企画を増やしていきます。

卒業生が楽しんでいただけるお知らせやその他イベントについても告知していきますので、ぜひフォローをお願いいたします。発信してほしい情報がありましたらお知らせください。



筑波大学大学基金 <https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>

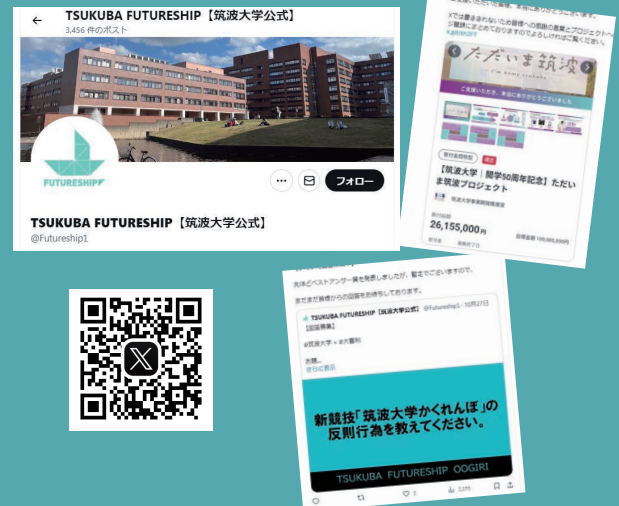
Tsukuba Futureship (筑波大学) Facebook

<https://www.facebook.com/univ.tsukuba.futureship/>



TSUKUBA FUTURESHIP (筑波大学公式) X

<https://twitter.com/Futureship1>



編集・発行：「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

デザイン・配信作業：国立大学法人筑波大学事業・リレーション推進室

ご意見・問い合わせ先：国立大学法人筑波大学事業・リレーション推進室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

TEL 029-853-2030 FAX 029-853-6576



メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

©2025 University of Tsukuba.



「ペデジャーなる」のバックナンバーはこちらから

➡筑波大学メールマガジン『ペデジャーなる』

<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/alumni/pedeja/>



配信先・ご住所などの変更は以下のフォームよりご登録をお願いいたします

➡登録フォーム <https://forms.office.com/r/0ndsbfM04q>